



厚生労働省

国立障害者リハビリテーションセンター

National Rehabilitation Center for Persons with Disabilities

センターの役割 — 我が国の障害者リハビリテーションの中核機関 —

国立障害者リハビリテーションセンターは、障害者リハビリテーションの中核機関として、障害者の自立及び社会参加を支援し、障害者の生活機能全体の維持・回復のため、先進的・総合的な保健・医療・福祉サービスを提供しています。

- 総合的リハビリテーション医療の提供
- リハビリテーション技術・福祉機器の研究開発
- リハビリテーション専門職の育成と能力向上
- 障害者の自立訓練及び就労移行支援の実施
- 障害者の健康増進及び運動医科学支援
- リハビリテーションに関する国際協力

◆ 主な仕事の内容 ◆

管理部

人事・給与・福利厚生・出張に関する総務事務や、契約・支出・債権管理・国有財産管理などの会計事務を通してセンターの運営を支えています。

企画・情報部

高次脳機能障害、発達障害をはじめとする障害や支援機器に関する情報の収集・分析・発信をしています。また、WHO（世界保健機関）指定研究機関としての役割を果たすとともに、JICA（国際協力機構）事業による海外研修員の受け入れや職員の派遣を行っています。

自立支援局

自立支援局の庶務・予算に関すること全般や、利用者宿舎の運営、障害福祉サービス利用料の算定事務を行っています。

事務職は約70名で、ここで紹介したほかにも病院・研究所・学院など各部門で働いています。

◆ 先輩からのメッセージ ◆

私は管理部会計課経理係の歳入担当として勤務しています。主な業務は債権の管理、未納者への連絡、決算額の報告などで、施設利用者への請求事務も行っています。

私が印象に残っていることは、毎年6月、10月に開催される体育祭、リハ並木祭（文化祭）という行事です。職員と利用者と一緒に楽しむことができ、その企画・運営に携わることもあります。

センターは障害者支援のために幅広い職種の方が働いていて、各部門と連携を取りながら仕事を進める中で、様々な知識を得ることができます。ここでしかできない貴重な経験です。

皆さんもぜひ一緒に働きませんか。

（平成30年度採用・一般職試験（大卒程度）行政区分）



◆ 採用後について ◆

採用後は、通常2～3年ごとに異動し、幅広い業務を経験しながらキャリアアップをしていきます。

勤務地は埼玉県所沢市です。本人の希望や適性を考慮して、以下の施設間で転勤の可能性があります。

- ・函館視力障害センター
- ・神戸視力障害センター
- ・福岡視力障害センター
- ・別府重度障害者センター

また、施設間の異動だけでなく、関東信越厚生局をはじめとする全国の厚生局への異動や、厚生労働本省の主に福祉部局への異動もあり、全国的な視野に立った仕事もあります。

問い合わせ先

〒359-8555

埼玉県所沢市並木4丁目1番地

国立障害者リハビリテーションセンター
管理部総務課人事係

TEL: 04-2995-3100

FAX: 04-2995-3102

<http://www.rehab.go.jp/>